



令和5年度  
文化庁文化芸術振興費補助金  
(地域文化財総合活用推進事業)

# お城博士ちゃん と学ぶ



にゅうじょう  
入場  
むりょう  
無料  
要事前申込

ちゅうせい

やまじろ

# 中世山城



テレビにも多数出演して活躍するお城大好き「お城博士ちゃん」  
こと栗原響大さんと、京都先端科学大学の特任准教授である  
「お城のスペシャリスト」こと中西裕樹先生の夢の対談が実現！  
お城好きによるマニアックなお城トークは勿論、泉佐野市にある  
国史跡・日根荘遺跡の一つである「土丸・雨山城」についてなど、  
中世の山城についても熱いトークをくりひろげます。  
お城の魅力を実際に体験し、より深く感じてください。



栗原 響大さん  
お城博士ちゃん

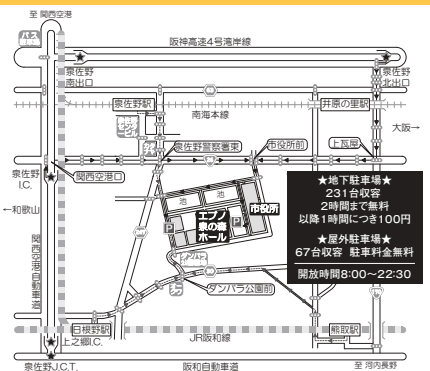


中西 裕樹先生  
京都先端科学大学 特任准教授



申込期限 2024年2月4日(日)まで

※申込人数が多い場合、抽選を行います。その場合、学生を優先いたしますので予めご了承ください。  
※後日、当日の映像を配信する予定です。



日 程：令和6年2月12日（月・休）  
時 間：15：00～17：00（受付開始 14：00～）  
※時間は前後する場合がございます。  
会 場：泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）レセプションホール  
〒598-0005 大阪府泉佐野市市場東1丁目2番1号 2階  
登壇者：栗原 響大さん（お城博士ちゃん）  
中西 裕樹さん（京都先端科学大学 特任准教授）  
中岡 勝さん（泉佐野市教育委員会文化財保護課 日本遺産推進担当理事）  
推奨年齢：小学校4年生以上  
参加人数：200名限定  
入 場 料：無料  
W E B：https://tinyurl.com/ylxwkkc



WEBサイト



申込フォーム





ひねのしょう おおぎ のうそんけいかん  
日根荘大木の農村景観

# 全国中世荘園サミットとは

全国中世荘園サミットとは、日本全国の中世荘園を所有した自治体が集まり、これまでの取り組みやその成果、今後の展開などを討議し普及啓発していく活動です。

今年度は、「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定されている泉佐野市の3つの日本遺産から『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—』の構成文化財・日根荘遺跡の一つに含まれる「土丸・雨山城」などの中世山城について、お城のプロフェッショナルと一緒に学んでいきます。



しろのやまさんしょう やしろ せきひ  
城ノ山山頂にある社と石碑

## 「土丸・雨山城」とは

泉佐野市土丸の城ノ山と熊取町の雨山頂上付近にはかつてお城が存在していました。お城は紀州街道や水間道、大木道など主要街道の結節部に位置し、とてもすぐれた眺望が確保でき、戦略的に重要な立地にありました。昔の史料にはこの城に関連した人物などとして日根野盛治、橋本正高、和田正武、山名義理、根来寺などの名前をみることができます。

平成21年度からの泉佐野市・熊取町の調査により、南北朝から戦国期にかけての曲輪、武者隠し、堀切など城郭にかかわる遺構が確認され、一つの山城として機能していたことがわかるとともに、日根荘と深くかわりあつた山城跡として評価され、国史跡である「日根荘遺跡」に追加指定されました。泉南地域を代表する中世城跡です。

## まさもとこうたびひきつけ 政基公旅引付

室町時代の末に武士の勢力が増してくると荘園経営が危うくなり始めました。日根荘でも同様で、直接支配を行うために領主であった九条政基が文亀元年(西暦1501年)に京から下向し、入山田村大木にあった長福寺に滞在します。政基が京に戻るまでの4年間の入山田村の雨乞い、大井関大明神(日根神社)の例祭といった日常生活の様子や軍勢の来襲の様子などを日記に記し、当時の荘園の様子や人々の生活を伺うことができる史料です。



まさもとこうたびひきつけ しょうりょうぶしよざう こうほう てんさい  
「政基公旅引付」原本:宮内庁書陵部所蔵・広報いずみさの令和元年7月号より転載

## にまい しょうえん えず 二枚の荘園絵図

日根荘が成立したのは文暦元年(1234年)。経営の一番の難題は、広大な未開地の開発でした。そこで九条家は延慶2年(1309年)、日根荘の土地調査に着手します。その際に作成された二枚の絵図には、極めて克明に村の水路やため池、寺社などが描かれています。驚くのは現存するものとの一致。受け継がれる農村の景観です。



ひねのしょう ひねのむらこうやかいはつえず ひねのしょうひねのむら いはらむらこうやかいはつえず  
「日根荘日根野村荒野開発絵図」「日根荘日根野村・井原村荒野開発絵図」  
しょうりょうぶしよざう れきしかん しょうせつてんじぶろく てんさい  
原本:宮内庁書陵部所蔵・歴史館いずみさの常設展示図録より転載

## とうだんしゃ しょうかい 登壇者のご紹介

**栗原 響大さん** お城博士ちゃん  
神奈川県在住の中学2年生。松江観光大使。幼稚園の頃から戦国武将や歴史に興味を持ち、小学1年生(6歳)の時に姫路城を訪れたことをきっかけにお城好きになる。それ以来お城めぐりを趣味とし、現在全国300城以上を巡り、100名城・続100名城の制覇を目指している。一番好きなお城は静岡県の山中城。将来の夢は、多くの人に お城の楽しさ・面白さを伝え、城郭の保護に関する仕事に携わること。



**中西 裕樹さん** 京都先端科学大学 特任准教授  
大学で取得した学芸員資格を活かし、高槻市に就職後、市立しろあと歴史館で学芸員に。三好長慶、高山右近という戦国武将や城郭をテーマとした特別展の他、多数の展覧会や調査を担当。著書に「大府府中世城館事典」があり、芥川城跡の国史跡指定を担当した。



**中岡 勝さん** 泉佐野市教育委員会 文化財保護課 日本遺産推進担当理事  
平成4年に泉佐野市に埋蔵文化財担当で就職。国史跡日根荘遺跡の長福寺跡の発見、土丸・雨山城跡の調査を担当した。現在3つの日本遺産と世界かんがい施設遺産の計4つの文化遺産を活用したまちづくりを推進している。

